

シオンの子

第 51 号

2024.6



子どもの日の集い 2024.5.5

い。

私たちには毎日、沢山の人に支えられています。季節ごとの野菜やお米を頂いたり、クリスマスには沢山のプレゼントを頂いています。また、地域の皆さんに時には迷惑をかけてしまったりすることもあります。

この場を借りて、「ありがとうございます」といいます。そして「ごめんなさい」と、伝えたいです。これからも沢山の人に支えられ、守られるながら、いつか自分が大きくなったら、地域に貢献します。そこで就業実習を繰り返し、就職先を決めていきます。働くことの大変さと、分からない事を聞くこと、「ありがとうございます」といふことです。

これからも「迷惑をかけてしまうこともあります」と思いますが、暖かく見守っていただきたいと思います。

今日は短い時間ではあります、子どもたちの発表や作品展示等で楽しんで行って下さい。

皆様、今日はお忙しい中、子持山学園子ども日の集いにお越し下さいましてありがとうございます。

児童代表『歓迎の挨拶』

子どもの日の集い

編集・発行
住所・電話・FAX
ホームページ

社会福祉法人子持山福祉会 児童養護施設 子持山学園
〒377-0203 群馬県渋川市吹屋 201-1 TEL 0279-23-1152 FAX 0279-23-1153
<http://www.komochiyama1952.com/> Mail komochiyama1952@mst.ocn.ne.jp

「子どもたちに寄り添う」こと
の難しさ

理事 小野澤 昇



私の家に一匹の猫がいます。人間の生活と猫の生活を同じ次元で語ることはできませんが、猫の生活を見ていると本当に自由奔放に生活しているように見える時があり、「もし猫のよう生きられたらどうなんだろうか?」と思うことがあります。

私たちは家庭や学校、地域、友人などの集団(コミュニティ)に所属し、その一員として日々、多くの人と関わり、様々な活動に参加しています。こ^{うした人との関わりや活動を通して、}楽しいことや辛いことなど多くのことを経験し、成長・発達していくわけです。そうした営みに参加していく時々 「それは必要なこと?」「今、しなくてはいけないこと?」などと思うことがあります。その理由としては、個人の生活経験や価値観、年代間、子どもと大人、全ての人の感ずる「生活する」ことへの視点の相違などが要因と考えられます。

子持山学園での生活について考えて

みたいと思います。学園では「いと小さき者への愛を」という理念のもと、家庭に代わる生活の場として「子どもたちを兄弟姉妹のように育てたい」という思いを持ち、学園を利用する子どもたちと、子どもたちの生活を支える児童指導員や保育士さんを始めとした全般的なスタッフの方たちとの間で、築かれる人としての関わり(人間関係)とともに「子どもは自分の気持ちや意見も十分に言えず、尚更弱い立場にある」ことを踏まえ「家族のような愛を持つ

子どもたちに寄り添い、共に成長していく」ことをを目指し、日々、献身的な活動が取り組まれています。子どもたちにとって、学園のスタッフの皆さんとの関わりは極めて大切であることは間違ひありませんが、子どもたちの感ずる様々な思いや生活を支えるスタッフ側との思いや受け止め方は常に同じとは限りません。時には気持ちはすれ違いがあるかも知れません。学園の掲げる目標である「家族のようないふをつて子どもたちに寄り添う」・

「共に成長する」とはどのようなことなのだろうか? そのため自分はどうあつたら良いのか。難しいことかも知れませんが、急いで結果を求めようとすると、どこかで思い込みや見落としが発生することがあります。大変なことかも知れませんが、急いだり慌てたりすることなく、時間をかけて、子どもの話を聞き、子どもの考え方や思いと向き合ってみること。「子どもたちに寄り添う」ためには、そんな取り組みが必要なのではないか。

折に触れて考えてみることがあっても良いのではないかと思います。

「七十周年記念誌の発行について」

理事長 中島 俊一

私は、この度、創立七十周年を記念いたしまして記念誌を制作・刊行させて頂く運びとなりましたので、ご案内させて頂きます。

六十ページ余りの小さな冊子ではございますが、その中には、本学園の創立に至った経緯を描いた漫画や、創立者である中澤英三先生が生前に執筆された原稿をはじめとして、この度の七〇周年を記念してご関係者の皆さまからお寄せ頂いた原稿など、貴重な情報がまとめられています。

まだお手元に届かない方や、お知り合いへの配布等でさらに何冊か必要な方は、本学園まで必要部数とお届け先をご連絡ください。

最後になりますが、今後ともより一層のご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

恒例「子どもの日の集い」 開催の喜び

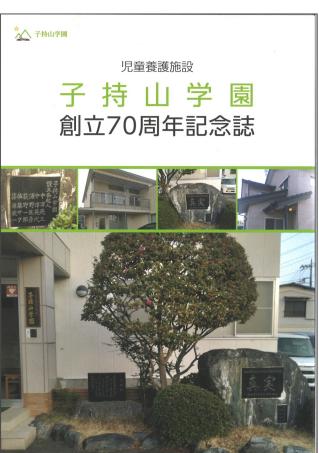
施設長 阿久澤 磨

子持山学園では毎年五月五日に「子どもの日の集い」を開催し、どなたでも自由に来園(四百名以上)でき、式典と子どもの作品や発表、模擬店の食事やゲーム等を楽しんでもらいました。しかし、新型コロナが日本で感染拡大が始まった令和二年度は中止し、令和三年度から五年度は学園の子どもたちと職員だけで「子どもの日の集い(仮)」として実施していました。

第一部には、ご支援をいたいでいる方や関係機関の方々をご招待し約五十名が出席してくださり、皆様に感謝の気持ちを伝え、子どもたちの健やかな成長を一緒に願いました。また、ボランティアと長年の寄付者のお二人に感謝状を贈りました。

第二部は、学園の子どもと職員だけで、夕方から後夜祭として、にぎやかに楽しく過ごしました。

多くの来園者に、「以前のような大掛かりではなかつたが良い内容でした。」「児童代表の歓迎の挨拶(表紙に掲載)に感動しました。」「子どもたちの作品や発表を楽しむことができ、心が洗われた気分です。」とご好評をいただき、子どもも職員も開催できることを、より一層喜ぶことができました。



子持山学園
創立70周年記念誌



子どもの日の集い 2024. 5/5

新型コロナウイルス感染拡大に伴って実に、5年ぶりに外部のお客様を招いて、子どもの日の集いを実施しました。この5年間の間に、職員も子どもも入れ替わり、どのような形式で実施するか1から作り上げる中で、日頃の感謝、そして子どもたちの健やかな成長を願う、2つのコンセプトだけは大事にしました。一部式典では、渋川市長様を始めご来賓の方から温かいお言葉を頂戴し、それに応えるように児童代表の挨拶(表紙)では、立派に歓迎の言葉と日頃の感謝を伝えることが出来たと思います。その後、全員でのダンス、一輪車、縄跳び発表を行い、子どもたちの頑張る姿で感謝の気持ちを伝えました。

午後からは、園内で後夜祭を行い、アトラクションや飲食の模擬店で楽しみました。子どもたちの成長、頑張り、そして皆様のお支えに改めて感謝を感じる一日となりました。ありがとうございました。

31



パパ育休取得職員にインタビュー！

Q:どうしてパパ育休を取ろうと思ったのですか?
A:2人目という事もあり、1人目の保育園の迎え等心配で悩んでいた時に、園長先生からパパ育休の話をもらったので取得しました。自分は4週間連続で取得しましたが、毎日毎日があつとう間に過ぎてしまいました。

Q:今後の職員へメッセージ

A:本当に子育ては一人では出来ないので、積極的に活用して、自身の子育てにも参加して欲しいと思います。仕事柄子育てのスキルアップに繋がると思います。 Tatsuya★

産休・育休取得中職員にインタビュー！

Q:どうして、産休・育休を取得したのですか?
A:まだ仕事でスキルアップしたり、やりたい事がある為、産休を取って仕事復帰したいから…。
Q:自身の出産、子育てをしてみて、今までの仕事を振り返り、思うことはありますか?
A:今まで働いて来て、子どもたちを枠にはめすぎてしまったり、ルールや約束に縛られ過ぎていた。自身の子育てをして、基本何でもありかな(笑) 一人ひとりのペースに合わせてのんびり養育していけたらと、思います。
Q:産育休とっておもうことは?
A:本当に子育ては一人ではできない。いろいろな人に頼って子育てすることが大切。職場柄ベテラン保育士、ベテランママさんがいるので色々な相談が出来た。このノウハウが今後地域福祉の拠点となれば良いと思う。kahoru♡



「子どもたちの頑張り」

時澤 夏生

日々の生活を子どもたちと送る中で、大変なことが多くあります。成長もまた多く感じる事があります。



「入学式を終えて」

高平 園英

緊張と期待を胸に迎えた入学式。担任からの点呼に立派な返事をしたその姿に、私は安堵しました。

5月5日の子どもの日の集いでは、子どもたちが一輪車、ダンス、縄跳びを披露してくれました。初めは上手く乗る事が出来なかつた一輪車ですが何度も転びながらも練習をしていくうちに周りの子どもたちと一緒に乗る事が出来ていきました。ダンスを踊りたくないと言っていた子どもも「踊った方がいいのかな」と自ら相談ができ、練習、本番と立派にお客さんの前で踊る事が出来ました。

普段の生活の中では見つけにくいほんの小さな成長ですが、子どもの日の集いを通して、苦手な事にも前向きにチャレンジをしていく子どもの心の成長を感じる事ができ、嬉しく思いました。これからも、成長を見守つていけるよう自分自身も頑張ります。



「成長の瞬間」

関根 里美

姉妹で入所して約七年、姉が中学への一歩を踏み出しました。小学校では体育部に入部し自分の得意を見つけ優秀な成績を残しました。しかし、ホームに帰つてくると頑張るスイッチが切れダラダラモードへ。もう少ししつかりして欲しい思いで、強い口調になつてしまいよく衝突している日々。ですがその衝突は、今まで信頼関係を築いてきたからこそのことだとも思えます。そんな中、子供の心が段々成長していることを実感する場面がありました。それは、運動会で活躍している姿をみたとき、体育部で頑張った結果を出した姿をみたときです。私の想像を越えKさんは努力をし、頑張らなければなりません。入学から一ヶ月が過ぎ、今では勉強を頑張りたい、ホームで色々な調理をしてみたいなど、前向きな話が聞こえるようになりました。とても嬉しいひと時です。



かがやく星たち

〔新生生活〕

令和五年度卒園生K

〔



子持山学園を退所して二ヶ月が経ちます。新しい環境にも少しづつ慣れ始め、自分自身も心に余裕が持てるようになりました。

仕事を始めて最初の頃は、辛いと思うことの方が多く、周りとの差を感じていました。けれど、自分なりに努力して今では仕事のレベルも上がり、有意義に作業が行えています。入社したての頃はコミュニケーションが全くとれず、人間関係に悩みましたが、今では同僚の子たちとも相談し合えるようになりました。これから仕事をする中で壁にぶつかる事もあると思いますが、自分が成長するチャンスだと思って様々なことを乗り越えていきたいです。まだこれからが勝負だと思うので、気を引き締めてちゃん応援してますよ。



子持山学園を退所して二ヶ月が経ちます。新しい環境にも少しづつ慣れ始め、自分自身も心に余裕が持てるようになりました。

仕事を始めて最初の頃は、辛いと思うことの方が多く、周りとの差を感じていました。けれど、自分なりに努力して今では仕事のレベルも上がり、有意義に作業が行えています。入社したての頃はコミュニケーションが全くとれず、人間関係に悩みましたが、今では同僚の子たちとも相談し合えるようになりました。これから仕事をする中で壁にぶつかる事もあると思いますが、自分が成長するチャンスだと思って様々なことを乗り越えていきたいです。まだこれからが勝負だと思うので、気を引き締めてちゃん応援してますよ。

〔



★そんな笑顔の似合うM君のままですくすくと成長してくれる事を願いつつ、M君の頑張りを応援したいと思います。

★嬉しさいっぱいの入学式から1ヶ月が経ちました。毎日歩いて登下校したり、帰ってくるとすぐに宿題に取り組んだりと変わらず楽しそうに過ごしています。



「小学校入学式」

堀口 恵美子

入所時より誰とでもすぐに話ができる「人懐っこい」という言葉がぴったりなM君。そんなM君なので入学という新しい環境については心配ありませんでした。

当日は思っていた通り不安な姿ではなく、大きなランドセルと一緒に宿題に取り組んだりと変わらず嬉しさいっぱいの入学式から1ヶ月が経ちました。毎日歩いて登下校したり、帰ってくるとすぐ始嬉しそうな姿が印象的でした。

嬉しさいっぱいの入学式から1ヶ月が経ちました。毎日歩いて登下校したり、帰ってくるとすぐ始嬉しそうな姿が印象的でした。

『ピカピカの新1年生』にインタビュー

①小学校でがんばりたいこと

- ・べんきょう
- ・みんなとなかよくあそぶ
- ②好きな科目
- ・こくご
- ・さんすう

③友だちはできましたか？

5人くらいできました。

鬼ごっこやかくれんぼをして遊んでいます

④ランドセルは気に入っていますか？

ランドセルをもらえてうれしかったです。

黒くてかっこよくて気に入っています。



星座



「頑張った子どもの日の集い」

千明 美寿々

「初めての入学式」

星名 歩美

「今年の子どもの日の集いはどのように事をするのかなあ」と、何日も前から楽しみにしていました子どもたち。

「今年もダンスあるのかな」等、わくわくと期待がいっぱい。少しずつ今年の指向性が決まり、子どもたちに伝えると「私、一輪車。ダンスやりたい！」と前向きな発言が聞こえ、始まったダンスが苦手な子に見本を見せてくれたり、一緒に練習をする優しい姿を見る事ができました。

一輪車では、毎日練習する中で意見が合わずピリッとする空気になってしまふこともありました。しかし、子どもたち同士練習熱心で一生懸命取り組む姿に、感動もありました。ひとつの行事に対し、様々な子どもたちの頑張る姿を見られ、私自身も楽しみながら携わることができ貴重な経験をさせていただきました。

自分ペースで成長していくA君に寄り添い支えていきたいです。

昨日5月に浅田ホーム配属となり、早くも1年が過ぎました。子どもたちに「いってらっしゃい」「おかえり」と笑顔で言えることがすごく嬉しい毎日です。





卒行会・成人式



おもちつき



卒業・入学



クリスマス



外食・イベント参加



ララちゃん来園



春のおもいで

コロナウィルス感染症5類移行に伴い、行事も再開され、元気な声が戻ってきています！

伊勢崎ロータリークラブ様
卒園生スーター式あかたこ様・多数スポンサー様
たこ焼き(キッチンカー)茂木カバン店様
新1年生ランドセル(財)一華五葉様
電動自転車・子ども用自転車

感謝！
ご支援ありがとうございます

坂田様（卒園生）
新玉ねぎ群馬県ガス事業協同組合様
ガス衣類乾燥機カーフスジャパンフードドライブ様
食料品多數

新任職員紹介～子持山学園へようこそ～

新任職員ヘインタビュー



壇口 恵美子

- ①ライフル賞、最距離ワーキング参戦、温泉、神社巡り
- ②子供たちが沢山遊び、沢山笑い、沢山ケンカない。

いつか「あそなうとあつたねー」と笑い合ひながらお迎いの成長を喜ぶ職員になれたならと感じます。



山田 千晃

- ①スノーボード・カメラ（主に自然風景）・読書・旅行・頻繁ではないですが、美術館に行くことも好きです。
- ②子ども達の成長を近づく見守る仕事をつとめたいと思います。私自身も成長ひらゆる日々で邁進していきたいですね。

山崎 泰弘

- ①スポーツ観戦・旅行
- ②全く別の業界からの転職となり不安なことも多くあります。ひとつのもの限りないものを感じます。
- ②自分が子ども達にひきいどける場所や存在があり続けられることと一緒に過ごしたいと思っています。

萩原 明子

- ①音楽鑑賞・ドライブ
- ②子ども達と共に成長していく、心を開いてもらえる努力をしたいと思っています。職員として学園にお世話をしながら、子どもたちの成長を楽しむ日々を多めにかと思いまして、よろしくお願いします。

片桐 愉ゆか

- ①車の運転が好きなので、ドライブ旅行。家族での温泉旅行が楽しめます。又、自分のややかな庭の園芸にも癒されます。
- ②この度は、学園に縁を頂きまつり、有り難うございました。先月の半ばより勤務させていただきまつり、今ともたくさん笑顔と純真さに癒されております。一日も早く信頼関係を築き、少しずつ心の廻りになれるものに努力したいと思います。どうぞ先輩の方々、ご指導よろしくお願い致します。

木村 ゆぐる

- ①散歩やパン屋巡りです。
- ②子ども達に寄り添い、一緒に学びながら、日々の小さな成長を見守っていきたいです。

雪遊び・スキー・スノボ教室

令和5年度も

学園スキー・ス

ノボ教室、数年

ぶりの児童対象

の雪遊びも実施

することができ

ました。

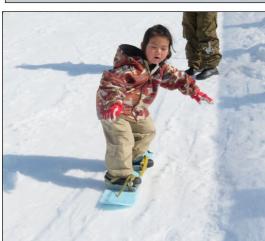
（一般ボランティア）
生田 正憲

きっかけは、震災ボランティアで知り合った児童養護施設支援の会の宮崎さんからの呼びかけでした。やしよつ草津、伊香保など観光の際に「道の駅こもち」をよく利用しており、地名になじみがありました。これも何かの縁とばかりに参加したのが施設外壁の高圧洗浄のお手伝いだったと記憶しています。6、7年前のこと。そこから、じどもの日の集い、子持山登山、スキーツアーやなどにも参加。主に「遊び担当」のボランティアといった感じでしようか?

これからも継続的に関わらせていただけます。よろしくお願ひ

「子持山学園を支えてくれる「人」

関わり



「子持山学園を支えてくれる「人」」

